

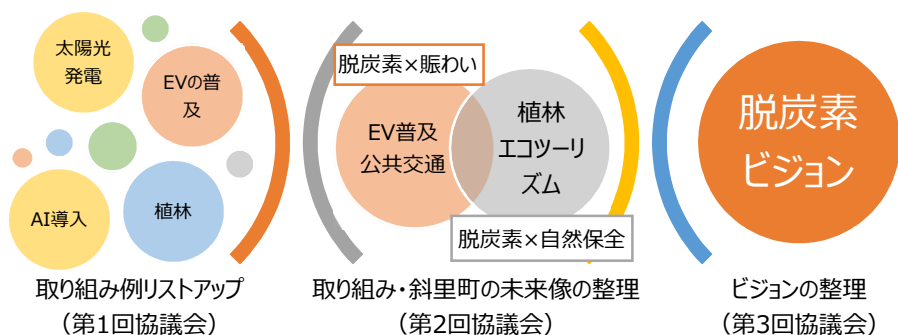
斜里町脱炭素ビジョンの検討について

(1) 斜里町脱炭素ビジョンの検討について

ゼロカーボンを実現した 2050 年の斜里町の未来像を整理した脱炭素ビジョンについて検討を行います。

行政のみならず町民、事業者にまで広く関わる脱炭素の取り組みは、住民の理解・参画のもと実現を図ることが重要です。そこで、本協議会での議論を踏まえてその内容を検討するとともに、検討結果はイラストを活用して視覚的に理解しやすい資料として整理して、広く町民に普及することを予定しています。

ビジョンの検討プロセスは、以下の通り予定いたします。



(2) 斜里町脱炭素ビジョンの検討方針について

● 区分に分けて取り組みを検討

斜里の多様な地域性を踏まえて、下記にある 6 区分において取り組み例を整理することを提案します。

【区分】 ウトロ地区、市街地、中斜里（工場）、農業、漁業（海）、地域間連携など[※]

※区分間で連携する取り組み、区分で整理できない取り組みを想定。他市町村との連携も含みます。

● 多様な取り組み事例を整理

ビジョンイメージに記載する内容はある程度絞り込むこととなりますが、戦略としては 2030 年、2050 年を見据えて幅広い可能性を取りまとめることを提案します。

(3) 斜里町脱炭素ビジョンイメージの検討について

● 6 区分をバランスよく配置

前述の 6 区分がバランスよく配置されるよう整理します。イメージはある程度デフォルメして、町民（特に子どもたち）にも親しんでもらえるようなイラストになるよう留意します。

● 社会の営み・人の動きが表現されるよう留意

豊かで明るく、活気ある斜里町の将来が表現されるよう留意します。斜里の風景や再生可能エネルギーに関するイメージに限らず、社会活動や町民の営みも描くことを検討します。

(4) 各区分の課題と取り組み例

●ウトロ地区

【主な地域課題】

不法投棄、野生動物との関わり、生ごみの処理、長距離の移動を要する運搬等（リネン等の運搬）

【考えられる取り組み例】

二次交通としてのEVカーシェアリングの普及

e-bikeの普及

持続可能な観光地づくり・サステナブルツーリズム

脱プラスチックの取組

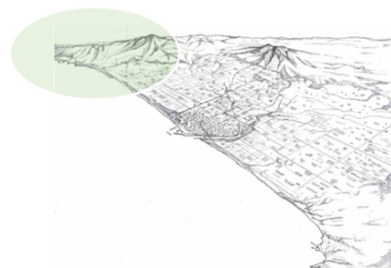
温泉熱、温泉排熱の有効活用

100平方メートル運動の森づくり

国立公園内のマイカー規制

壁面や屋根置き太陽光発電の設置

国立公園内の自動運転バスの導入



●市街地

【主な地域課題】

少子高齢化、空き家、空き店舗、若者流出、人手不足、大規模太陽光発電のFIT終了後の取扱い

【考えられる取り組み例】

ワーケーションの拡大

電力の地域循環

新築時はZEH・ZEBの推進、改修時は断熱の推進

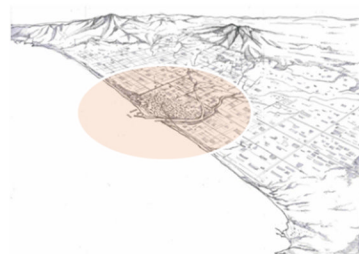
壁面や屋根置き太陽光発電の設置

コミュニティバスの拡充やオンデマンド交通の導入

二酸化炭素の排出量が少ない発電事業者からの電力購入

省エネ家電の活用（LED化の推進など）

テレワークの推奨



●中斜里（工場）

【主な地域課題】

農業残渣処理、トラック輸送の人手不足

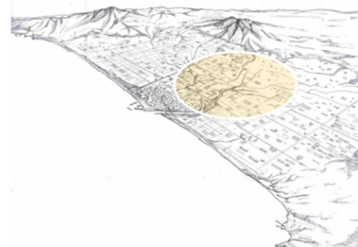
【考えられる取り組み例】

地域内でのエネルギー循環（木材有効活用など）

熱電供給施設の導入、公共施設・工場間の熱・電力融通

大型配送車への合成燃料の活用・運輸部門の取組推進

農業残渣を活用したバイオマス発電など



●農業

【主な地域課題】

農業残渣処理、トラック輸送の人手不足

【考えられる取り組み例】

畑地の CO2 吸収・固定

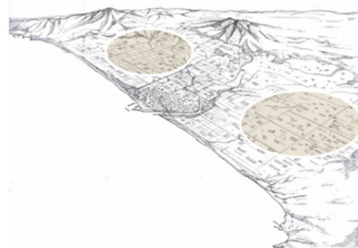
農業機械の燃料の改質

耕作放棄地、車庫や資材倉庫への太陽光発電設置

ビートパルプの利用

農機大型化、シェアリングの推進

農業機械の自動化等による効率運用の推進



●漁業（海）

【主な地域課題】

トラック輸送の人手不足

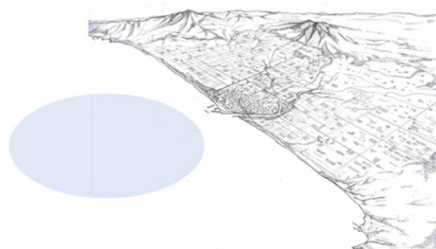
【考えられる取り組み例】

冷凍・冷蔵の省エネ

センシング技術を活用した漁船運航の効率化

漁船の燃料改質・省エネ化

漁業残渣を活用したバイオマス発電など



● 地域間連携など

【主な地域課題】

若者に魅力ある雇用の確保、空港や大都市との移動手段の充実、地域医療や学びの場の充実、電線地中化等のインフラの整備

【考えられる取り組み例】

既存の系統線や自営線を活用した地域再エネの地産地消

地域間連携による再エネ融通

再エネ電力×EV によるゼロカーボンドライブの普及

VR の充実による遠隔サービスの拡充

小規模水力や地中熱の活用

